2024年度 第2四半期
決算説明

2024年10月29日
日野自動車株式会社

24年度 第2四半期 決算トピックス

	2Q(4月-9月) 実績		通期 見通し	
販売台数	グローバル販売台数 62.0千台 前年同期比 ▲5.3%	・国内 20.9千台 前年比 <+10.4%> A09C出荷再開により販売増 ・海外 41.1千台 前年比 <▲11.7%> タイを中心アセアン市場減速	グローバル販売台数 130.0千台 前年同期比 ▲0.2%	・国内 42.0千台 前年比 <+15.9%> E13C/A05HC 見通し未反映 ・海外 88.0千台 前年比 <▲6.3%>
営業利益	241億円 前年同期比 +173億円	・アセアン市場減速の影響があるも 国内大型出荷再開、為替により増益	300億円 前年同期比 +381億円	・アセアン市場の低迷が継続も 円安および固定費効率化等により 100億円の上方修正
当期純損失	▲2,196億円 前年同期比 ▲2,197億円	・米国潜在債務およびカナダ和解金等 を引当計上(▲2,300億円) ・保有株式の売却益(+80億円)	▲2,200億円 前年同期比 ▲2,029億円	・カナダ/豪州の認証関連損失に ついては調査継続中のため 通期見通しに未反映

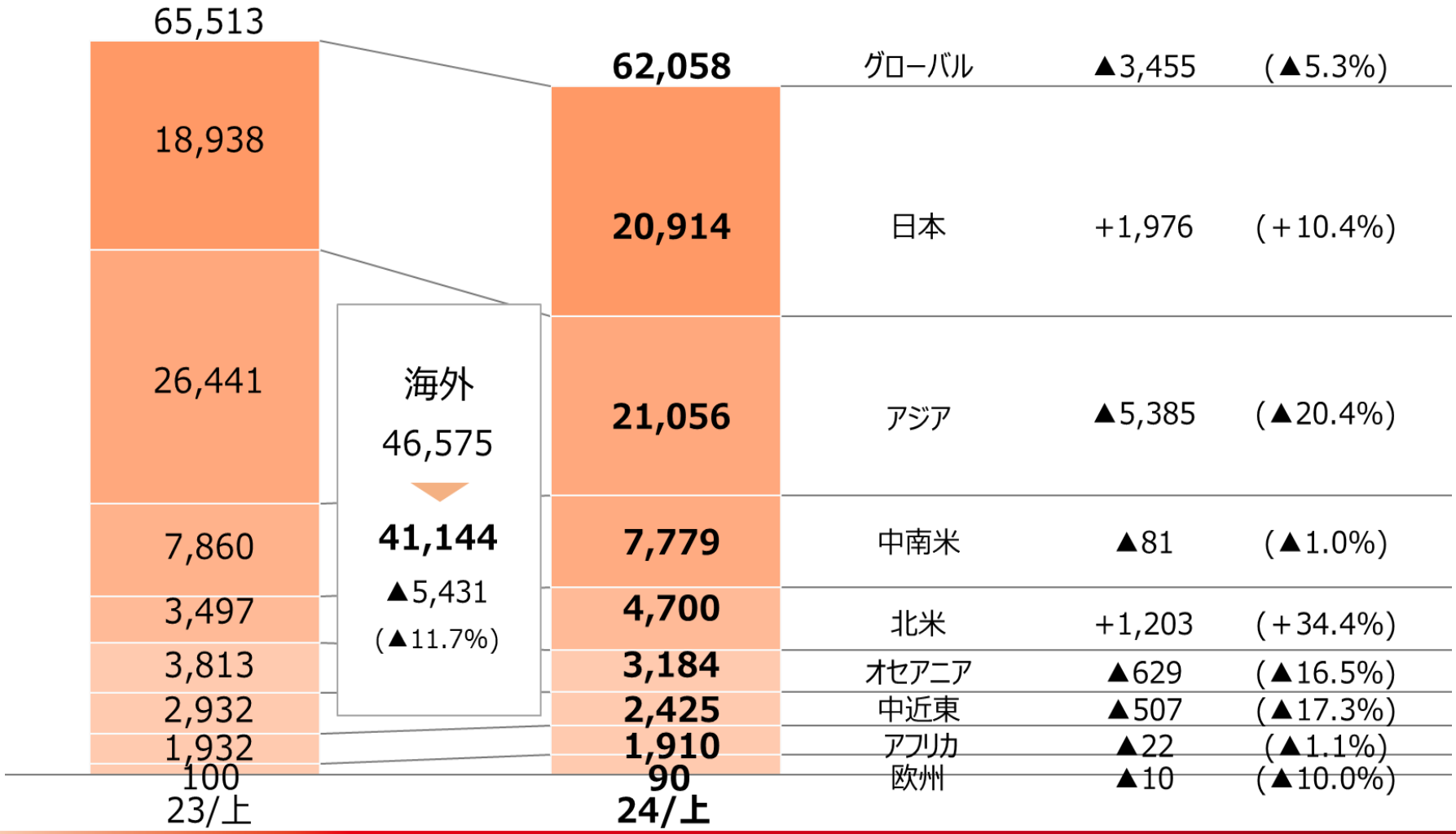
1)販売の状況

2)連結決算の状況

3)24年度 通期見通し

グローバル販売台数（地域別総台数）

・グローバル販売台数は 62千台、前年比 ▲3.5千台（国内 +1.9千台、海外 ▲5.4千台）
・海外は主にアジア経済の減速により、前年比減



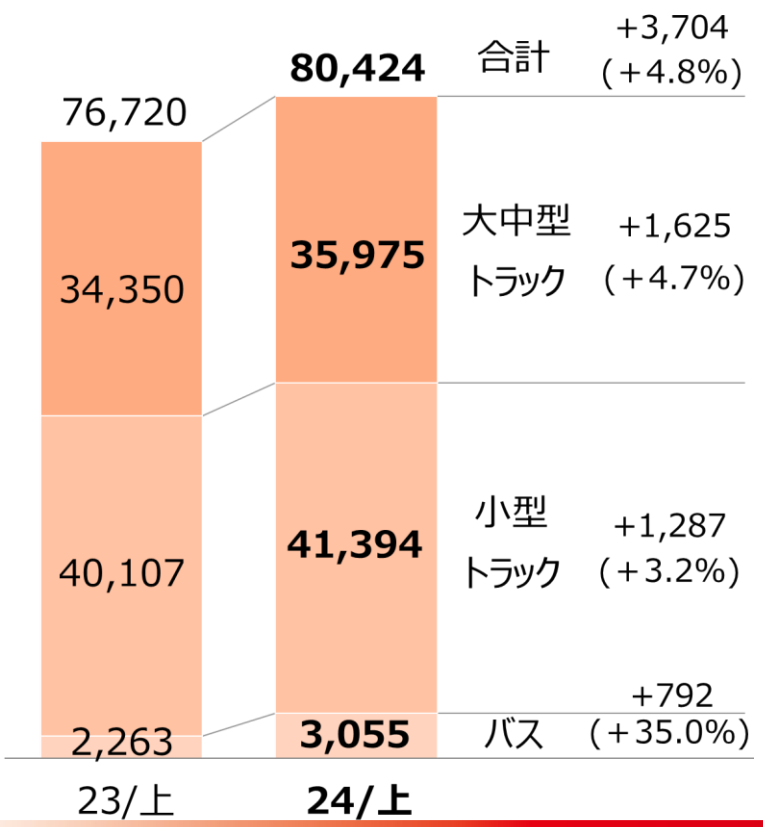
(単位：台)

国内トラック・バス市場の状況

総需要　：部品供給の改善等に伴う各社生産の回復により、前年比 +4.8%増
日野販売：小型トラックは供給面の問題等により減少したものの、A09Cエンジン搭載車の供給正常化に伴い
大型トラックが大幅に増加したことにより、全体では＋1.9千台の増

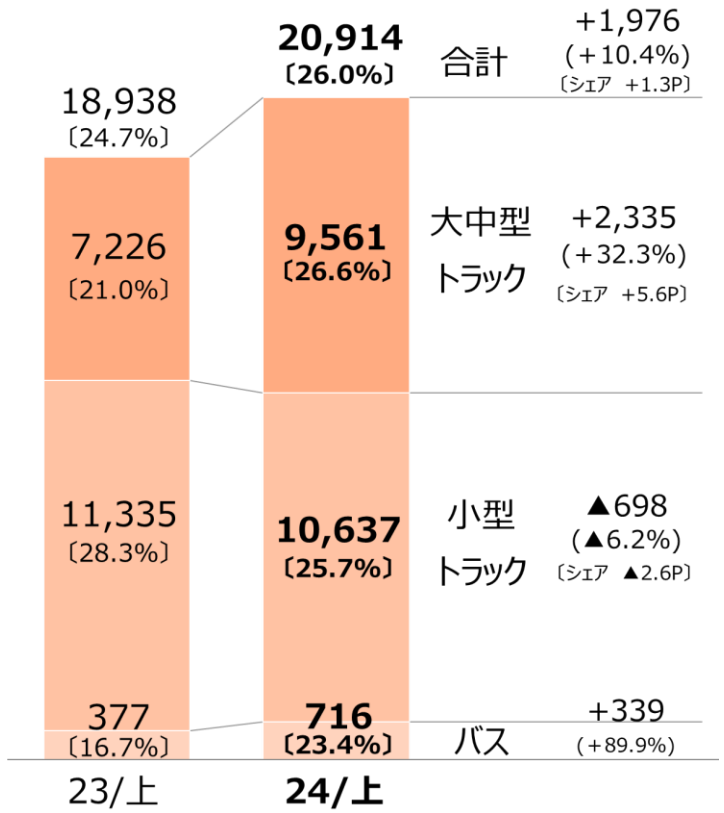
総需要

（単位：台）



日野販売〔シェア〕

〔 〕はシェア、( ) は対前年増減率
（単位：台）

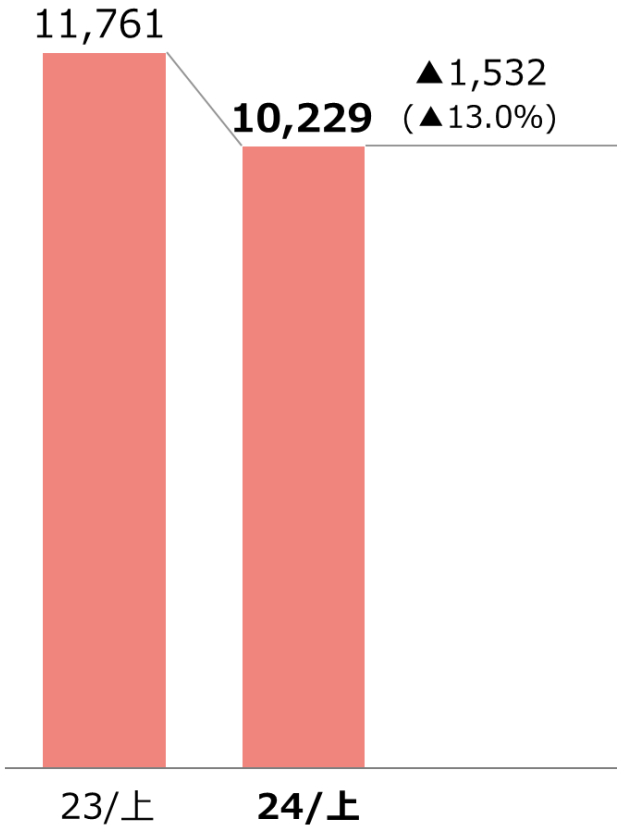


インドネシア・タイ販売台数

インドネシア：大統領選の短期終了により政治的影響は軽微も、資源価格低迷の影響により前年比減
タイ　　：経済の停滞およびローン審査の厳格化による市場縮小の影響等を受け大幅減

インドネシア

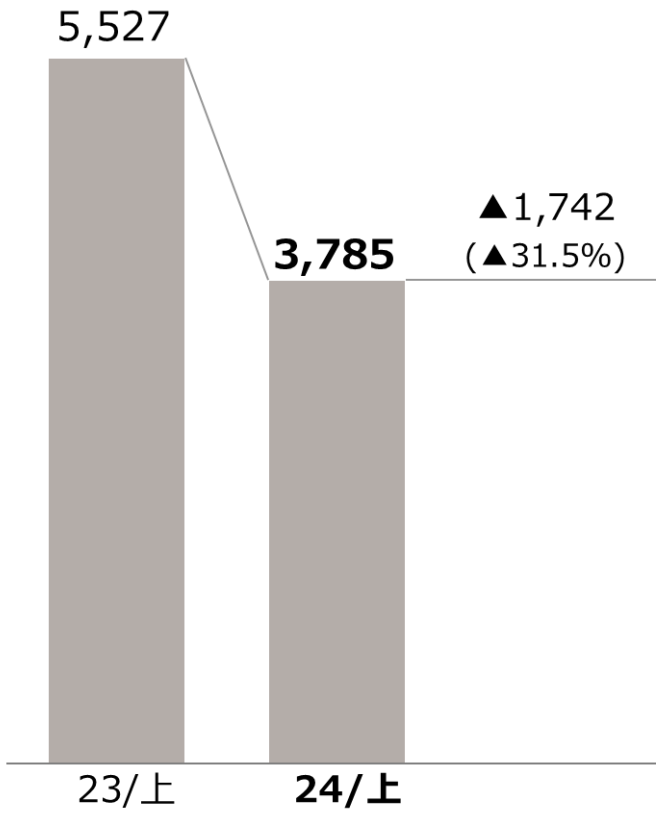
（単位：台）



タイ

※当期より、登録基準で表示
（比較の便宜上、前年も同基準に見直し）

（単位：台）

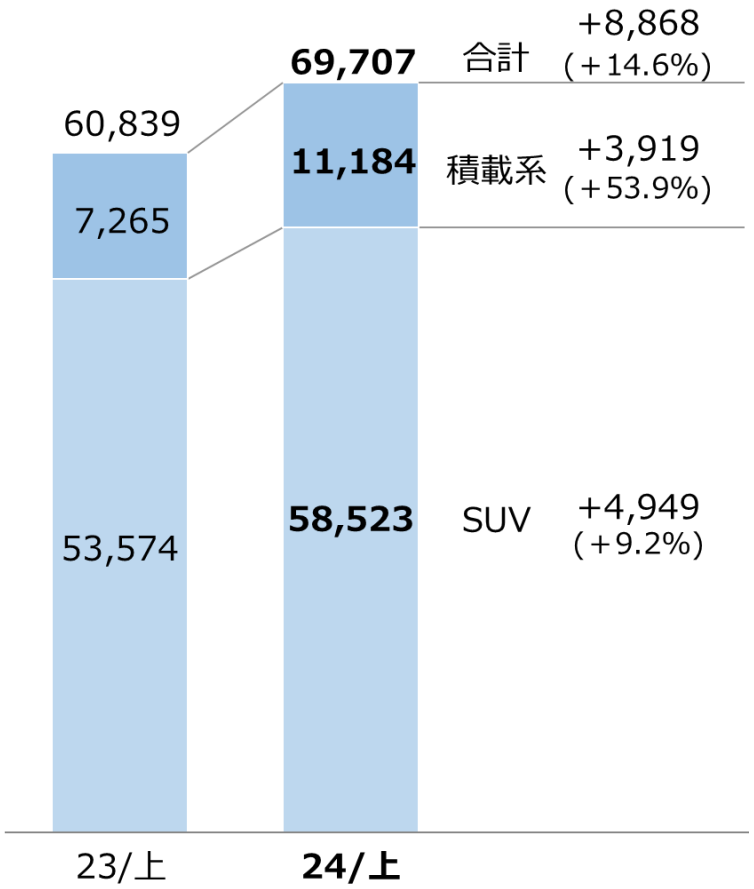


トヨタ向け車両・ユニット売上

・車両はSUV、積載系ともに前年比増加も、ユニットはタイでの需要減等により減少

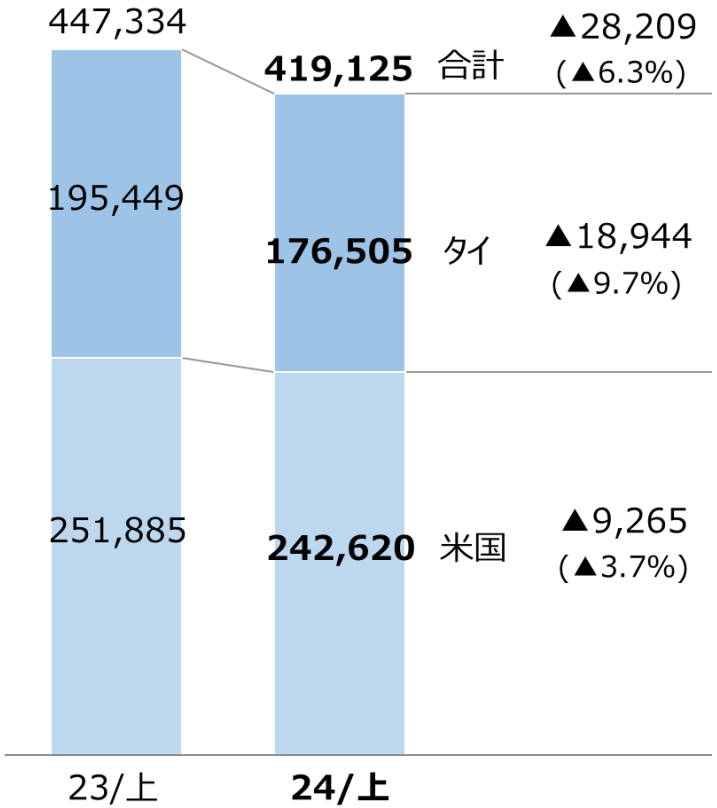
車両

（単位：台）



ユニット (タイ・米国ユニット販売)

（単位：ユニット）



1)販売の状況

2)連結決算の状況

3)24年度 通期見通し

連結損益の状況

（単位：億円）

科目	24/上	23/上	増減
売上高	**8,475**	7,554	＋921
営業利益	***(2.8%)*** **241**	*(0.9%)* 68	*(＋1.9p)* ＋173
経常利益	***(2.3%)*** **194**	*(0.8%)* 63	*(＋1.5p)* ＋131
親会社株主に帰属する当期純損失	***(▲25.9%)*** **▲2,196**	*(0.0%)* 1	*(▲25.9p)* ▲2,197

（　）は、売上高利益率

■ 連結売上台数

（単位：台）

	24/上	23/上	増減
国内	**20,607**	19,132	＋1,475
海外	**45,919**	48,275	▲2,356
トヨタ	**69,707**	60,839	＋8,868

■ 為替レート

	24/上	23/上
ＵＳＤ	**154**	139
ＴＨＢ	**4.26**	4.03
ＩＤＲ（100）	**0.96**	0.93
ＡＵＤ	**102**	93

連結営業利益の変動要因［対 前期実績］

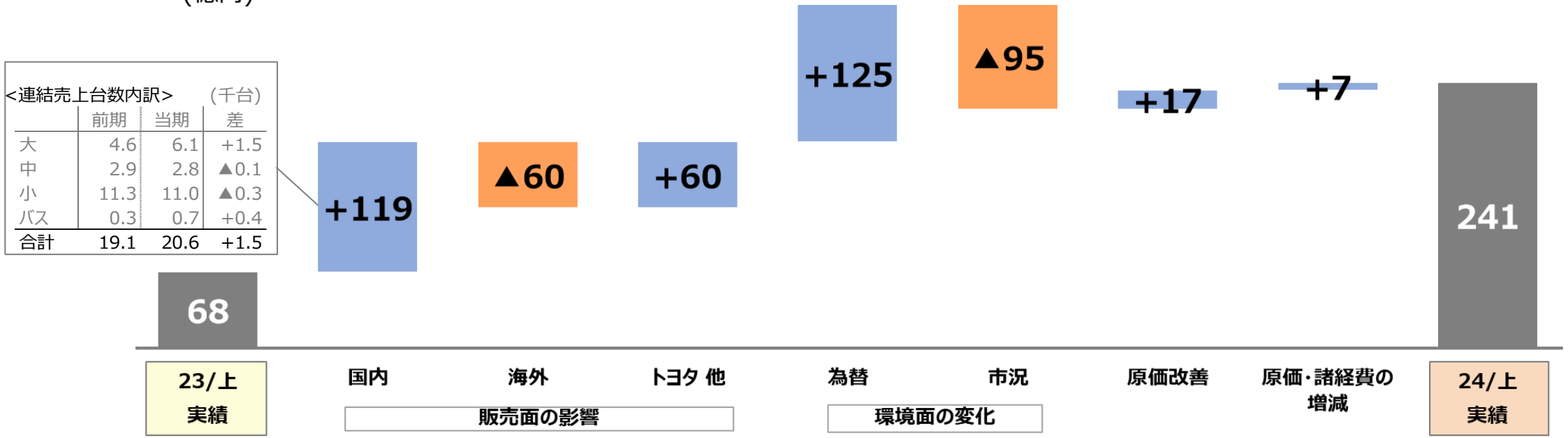
・円安進行に加えて、国内事業 及び トヨタ事業(新型SUV効果等)の収益増により、営業増益

営業利益　+173 (68 → 241)

(億円)

<連結売上台数内訳>　(千台)

	前期	当期	差
大	4.6	6.1	+1.5
中	2.9	2.8	▲0.1
小	11.3	11.0	▲0.3
バス	0.3	0.7	+0.4
合計	19.1	20.6	+1.5

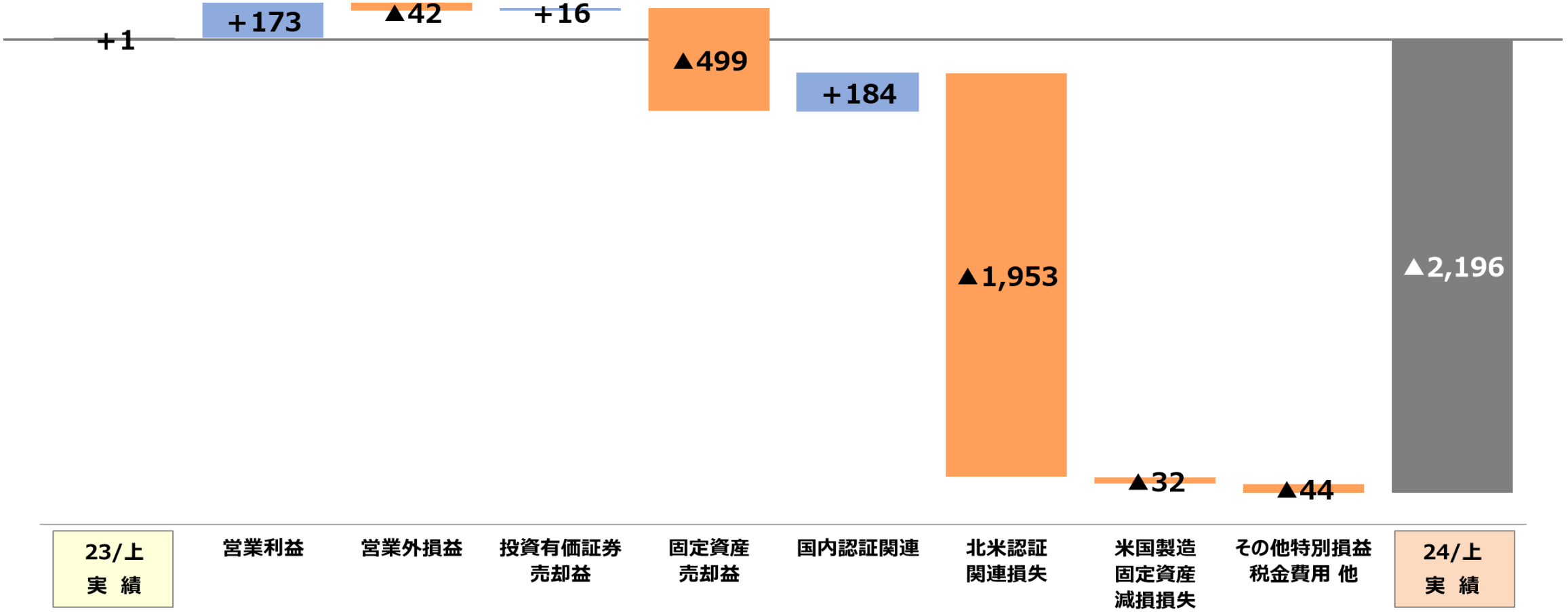


国内		海外		トヨタ他		為替(4月-9月)		市況		原価改善		原価・諸経費の増減		
台数	+12	台数	▲132	車両	+48	USD〈139 → 154〉	+64	<新規>	▲47	工場	+9	<一時費用>	+9	<継続費用> +7
価格	+75	価格(新規/波及)	+59	海外ﾕﾆｯﾄ	▲5	IDR 〈0.93 → 0.96〉	+13	通常分	▲21	資材	+3	訴訟関連費用	+35	プロジェクト費用 他 +7
TS	+32	TS	+13	PT	▲3	THB 〈4.03 → 4.26〉	+15	仕入先対応	▲26	設計	+3	日高/日野西側賃借料	▲11	<原価変動> ▲9
				仕入先	+20	AUD 〈93 → 102〉	+32	<波及>	▲48	物流	+2	経営統合関連費用 他	▲15	稼働ロス 他 ▲9
						TWD 〈4.49 → 4.76〉	+18	材料他	▲48					
						他	+12							
						固定費換算差	▲29							
計	+119		▲60		+60		+125		▲95		+17			+7

連結当期純利益の変動要因［対 前期実績］

(単位：億円)

当期純損失　▲2,197 (1 → ▲2,196)



連結所在地別セグメント 売上高・営業利益

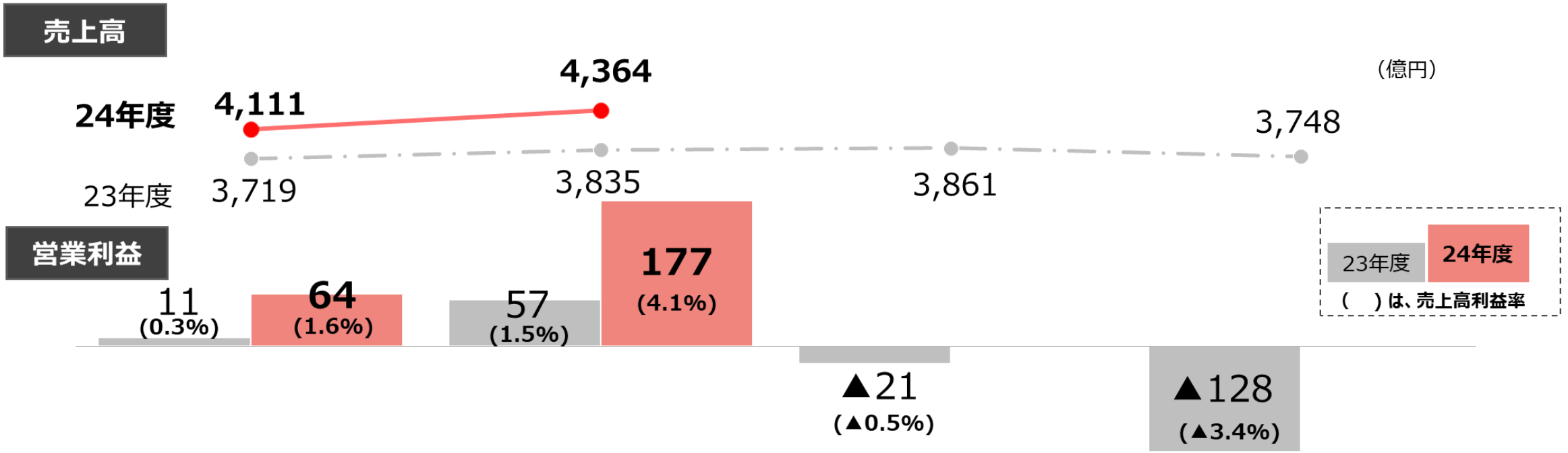
日本：A09C車の供給正常化に伴う大型トラックの台数増および為替円安により増収増益
アジア：車両価格改善/トータルサポート収益拡大も、タイを中心とした台数減により減収減益
その他地域：主として北米のトラック事業の台数増により増収、黒字確保

（単位：億円）

	24/上		23/上		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
日本	**5,925**	***(2.4%)*** **142**	5,154	*(▲1.3%)* ▲68	+15.0% +771	− +210
アジア	**2,098**	***(5.3%)*** **111**	2,365	*(9.1%)* 216	▲11.3% ▲267	▲48.4% ▲105
その他地域	**1,707**	***(0.3%)*** **5**	1,487	*(▲4.2%)* ▲63	+14.8% +220	− +68
調整	**▲1,255**	**▲17**	▲1,452	▲17	+197	−
計	**8,475**	***(2.8%)*** **241**	7,554	*(0.9%)* 68	+12.2% +921	3.6倍 +173

（　）は、売上高営業利益率　　増減欄の%は、対前年増減率

連結四半期別売上高・営業利益推移



第1四半期

為替レート	23年	24年
ＵＳＤ	135	154

第2四半期

23年	24年
144	153

第3四半期

23年	24年
149	-

第4四半期

23年	24年
147	-

1)販売の状況

2)連結決算の状況

3)24年度 通期見通し

24年度 業績見通し　前提条件

		期首公表（4月25日）	通期見通し（10月29日）
グローバル販売台数		134.0千台	130.0千台 (▲4.0千台)
国内		42.0千台	42.0千台 (-千台)
海外		92.0千台	88.0千台 (▲4.0千台)
トヨタ向け台数		155.1千台	152.0千台 (▲3.1千台)
為替 (年度平均)	USD	145円	下期145円　(通期149円)
	IDR(100)	0.93円	下期0.89円　(通期0.93円)
	THB	4.04円	下期4.04円　(通期4.15円)
	AUD	95円	下期95円　(通期98円)

連結損益の状況

（単位：億円）

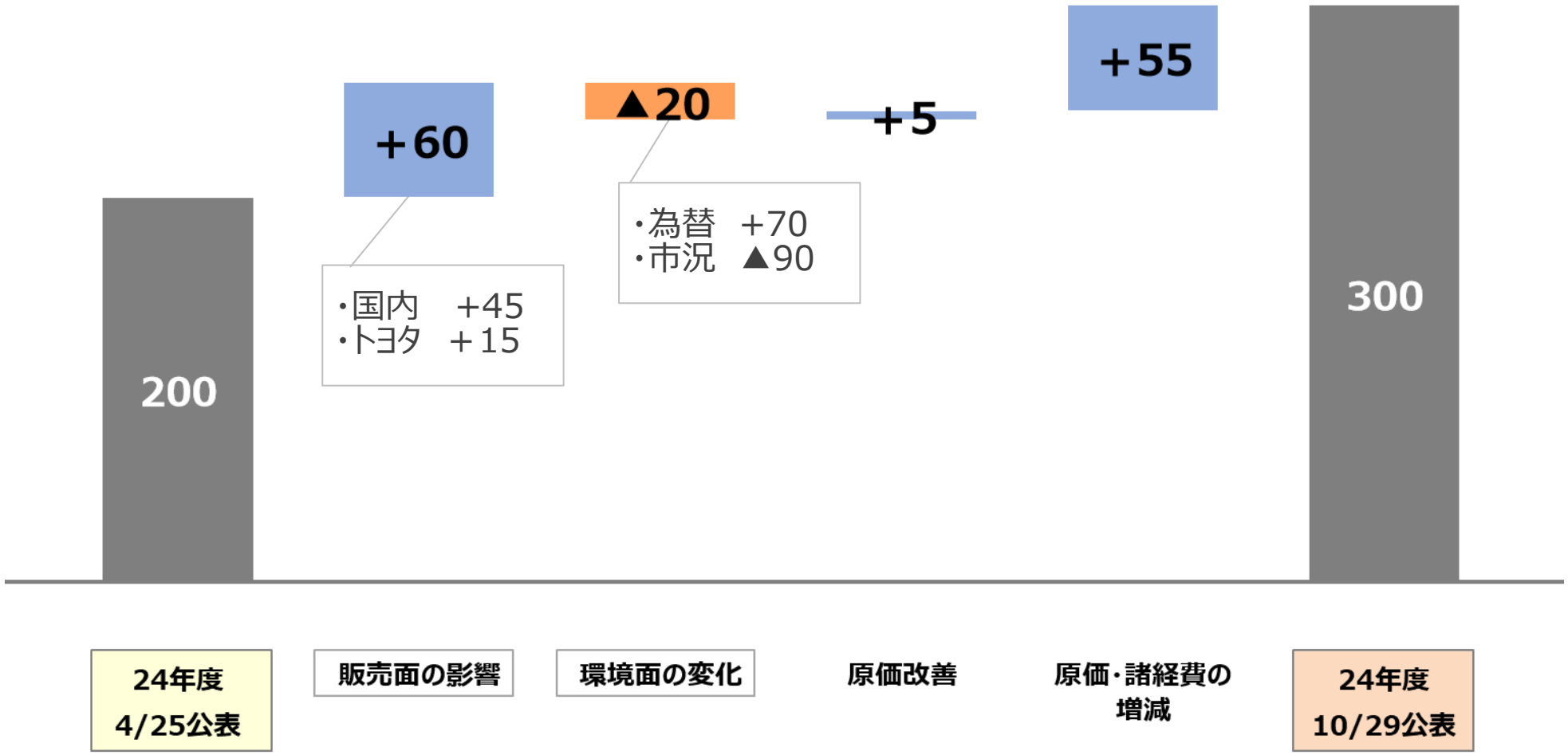
科目	24年度 10/29公表	24年度 4/25公表	増減	増減率
売上高	16,500	16,000	＋500	＋3.1%
営業利益	(1.8%) 300	(1.3%) 200	(＋0.5p) ＋100	＋50.0%
経常利益	(1.5%) 250	(0.6%) 100	(＋0.9p) ＋150	2.5倍
親会社株主に帰属する当期純損失	(▲13.3%) ▲2,200	－ －	－ －	－ －

（　）は、売上高利益率

連結営業利益の変動要因［対 期首公表］

営業利益　+100（200 → 300）

(億円)



HINO

人、そして物の移動を支え、豊かで住みよい世界と未来に貢献する

誠実
Integrity

コンプライアンスを徹底し、
誠実に行動します

貢献
Contribution

安全・環境にこだわり、
未来の社会を支えます

品質・プロフェッショナルにこだわり、
お客様の事業を支えます

共感
Empathy

互いを尊重し、
安全安心な職場をつくります